

災害対策の取り組みを紹介します

近年、全国各地で局地的な大雨や巨大地震の発生が相次いでいます。

昨年9月に発生した「関東・東北豪雨」では、市内全域に茨城県初の「大雨特別警報」が発令。道路の冠水や住宅・農作物への浸水など、多くの被害を受けました。

市では現在、避難所のあり方やマニュアルの見直しなどを進めています。今回は、取り組みの一部を紹介します。

【問】危機管理課、防災交通課(総和庁舎) ☎92-3111

避難所開設・運営訓練を実施

9月26日・27日、はなももプラザ(地域交流センター)で「避難所開設・運営訓練」を開催。地域住民や市議会議員、市職員など約120人が参加しました。

NPO法人茨城県防災士会による講話を聴いた後、参加者は実際の避難を想定しながらグループごとに避難所のレイアウトについて話し合い、成果を発表。その後、防災士の解説を受けながら、多目的ホールに段ボールを敷き、宿泊体験を行いました。

また、4月に発生した熊本地震の被災地へ派遣された市職員や古河保健所職員による講演も行われ、災害時の注意点や被災者と接する際の心構えなどを学びました。



◀さまざまな避難所レイアウトを発表

▶段ボールベッドの高さや安定性を確かめる参加者



気象観測装置「POTEKA」を設置

市内の気象情報を独自に収集できる気象観測装置「POTEKA」を設置しました。

収集した情報はインターネット「POTEKANET」(<http://www.potekanet.com/>)を通じて、いつでも・誰でも・リアルタイム・ピンポイントで取得できます。防災対策をはじめ、熱中症予防やお出かけの際の天候確認などにも活用できます。ぜひ、ご利用ください。

設置場所

- ・市役所総和庁舎
- ・市役所古河庁舎
- ・市役所三和庁舎
- ・小堤小学校



洪水浸水域説明会を開催

9月から11月にかけて、市内7つの地区で「洪水・道路冠水ハザードマップ説明会」を開催しています。

お住まいの地区の予想浸水範囲などを確認のうえ、避難のタイミングや避難場所などをあらかじめ決めておきましょう。

